

2022年10月27日

報道関係各位

GMO メイクショップ株式会社

**「MakeShop byGMO」、リニューアル計画を推進  
2022年11月にインフラ基盤の移行が完了し、  
2023年より新管理画面などアプリケーションのリリースを予定  
～“誰もがECを利用できる環境=EC普及率100%”の実現に向け  
より安心・安全で拡張性のあるシステムへと刷新～**

GMO インターネットグループの GMO メイクショップ株式会社（代表取締役社長 CEO：向畑 憲良 以下、GMO メイクショップ）は、“誰もが EC を利用できる環境=EC 普及率 100%”を目指して取り組んできた『次世代 EC 開発プロジェクト』において、EC サイト構築 SaaS「MakeShop byGMO」（URL：<https://www.makeshop.jp/>）のシステムリニューアルを推進しています。

2022年11月29日（火）までにはインフラ基盤の移行が完了予定となっており、その後は、管理画面のリデザインといったアプリケーションのリリースを進行いたします。2023年春をめどに新しい「MakeShop byGMO」を体感していただける状態を目指して順次リリース計画を遂行し、これまで以上に安心・安全で拡張性のあるシステムへと刷新してまいります。

The graphic features a light blue background with a large, stylized white 'After' watermark. In the top left, it says 'MakeShop Ship of Theseus Since 2022 次世代EC開発プロジェクト'. In the top right, a pink circle contains the text 'EC普及率 100% を目指して'. The main text in the center reads: '2022年11月 インフラ基盤の移行が完了 2023年 アプリケーションのリリースを予定'.

### 【リニューアルの背景】

GMO メイクショップは、「Commerce for a better future. / 商取引でより良い未来に」をミッションに掲げ、2004年より EC サイト構築 SaaS「MakeShop byGMO」を提供開始し、現在では国内 11,000 店舗様以上にご利用いただいております。流通額においては、EC サイト構築 SaaS 業界で 10 年連続 No.1<sup>(※1)</sup> を達成するほどのサービスに成熟いたしました。

昨今では、コロナ禍の影響もあり EC の存在がより身近になりましたが、そんな現在でも、日本国内の物販系分野の BtoC EC 市場における EC 化率は 8.78%<sup>(※2)</sup>、ネットショッピング利用世帯の割合は 53.1%<sup>(※3)</sup> にとどまるなど、さらなる EC の普及が期待できます。

そこで GMO メイクショップは、“誰もが EC を利用できる環境=EC 普及率 100%”を実現させるため、より安心・安全で拡張性のあるシステムの開発へ乗り出しました。EC 構築における黎明期から提供し続けてきた「MakeShop byGMO」を、今後の市場環境の変化にも柔軟に対応するプロダクトへと成長させるべく、2020 年より『次世代 EC 開発プロジェクト』を始動しました。これまでに 2 年以上の研究開発期間をかけて取り組んできましたが、現在すでに進行中のインフラ基盤の移行は 2022 年 11 月 29 日までに完了を予定しており、その後は、アプリケーション周りのリリース段階を迎えます。

(※1) SaaS 型ネットショップ/EC サイト構築サービス運営企業各社の発表数値より比較（自社調べ 2022 年 3 月時点）。

(※2) 経済産業省 商務情報政策局 情報経済課「令和 3 年度 電子商取引に関する報告書」

<https://www.meti.go.jp/press/2022/08/20220812005/20220812005-h.pdf>

(※3) 総務省統計局「家計消費状況調査 ネットショッピングの状況について（二人以上の世帯）－令和 4 年 8 月分結果－」

[https://www.stat.go.jp/data/joukyou/pdf/n\\_joukyo.pdf](https://www.stat.go.jp/data/joukyou/pdf/n_joukyo.pdf)

## 【リニューアルの概要とスケジュール】

『次世代 EC 開発プロジェクト』では、「テセウスの船」<sup>(※4)</sup> を合言葉にしながら複数のフェーズに分け、「Face」・「Join」・「Bridge」・「Merge」・「Spread」とフェーズごとにテーマを設けてリニューアル計画を推進しています。段階的にリリースしていくことで、現在「MakeShop byGMO」をご利用いただいているショップ様の EC 事業運営を止めることなく、新たな環境へと移行してまいります。

2020 年にスタートしたプロジェクトの立ち上げ・研究開発期間である「Face」、2022 年はβ版リリースによるテスト実施とインフラ基盤の移行により、既存ショップ様を新環境に迎え入れる「Join」のフェーズを進行しています。2023 年には、アプリケーションのリリース段階「Bridge」フェーズへ。オープンプラットフォーム化を進めより多くのパートナー様やショップ様の架け橋となり、そこからパートナー様やショップ様と融合する「Merge」フェーズを経て、さらなる成長を遂げ広がっていく「Spread」フェーズへと進んでいきます。

### ■ 2022 年より進行中「Join」フェーズについて

現在進行している「Join」フェーズでは、β版によるテスト実施とインフラ基盤の Amazon Web Services (AWS) への移行を進めています。すでに移行作業は進行しており、2022 年 11 月 29 日までには移行が完了する予定です。

AWS への移行により、急な高アクセス時にも性能低下が起きず高稼働率、高可用性を実現いたします。万が一システム障害が発生した場合にも影響を局所的にとどめ、災害時などにおいても 11,000 社以上の導入ショップ様の EC 事業継続を守ります。

### ■ 2023 年より迎える「Bridge」フェーズについて

「Bridge」フェーズでは、アプリケーション周りのリリースを実施いたします。ショップ様が毎日触れる管理画面を、よりわかりやすく効率的に運営できるようリデザインするなど、2023 年春をめどに新しい「MakeShop byGMO」を体感していただける状態を目指しております。

また、Developers サイトやアプリストアを順次オープンし、開発パートナー様などのサードパーティーと共にアプリ開発を行うことで、これまで以上に豊富な機能を提供、オープンプラットフォーム化を推進いたします。

## 段階的なリニューアル計画

# 「いつの間にか変わっていた」それがテセウスの船



### ■ 『次世代 EC 開発プロジェクト』 ティザーサイト

リニューアルの詳細や今後の計画については、下記 URL のティザーサイトにて順次公開いたします。

URL : [https://www.makeshop.jp/main/lp/next\\_ec/](https://www.makeshop.jp/main/lp/next_ec/)

(※4) ギリシャ神話を由来とした同一性を問うパラドックスの一つ。ある物体において、それを構成するパーツが全て置き換えられたとき、同一の物体だと言えるのか否か、という問題をさす。

### 【テストユーザー様の声】

#### ■ 新管理画面テストユーザー「パケ ドゥ ソレイユ」様

(URL : <https://www.paq-soleil.co.jp/>)

ベーカリーパッケージのリーディングカンパニー「パケドゥ ソレイユ」は、2021 年より「MakeShop byGMO」へ自社公式 EC サイトを移転しました。

これまでにも機能がサポートが非常に充実していると感じておりましたが、テスト利用した新しい管理画面は、売れ筋商品やよく見られている商品をダッシュボードで一目で確認することができ、わかりやすいと感じました。商品管理

の面でもまとめて在庫編集できる点や、詳細条件での検索がしやすい点など改善されていました。今後は売上分析の可視化により自社 EC の更なる売上アップに繋がることを期待しています。



#### ■ 新インフラ基盤テストユーザー「Yostar」様

(URL : <https://yostarshop.com/>)

「Yostar」は、「MakeShop byGMO」を利用しゲームやアニメ関連グッズを展開していますが、これまで限定商品の発売時やイベント実施の際には突発的な高アクセスによりサイト表示が遅延し、お客様をお待たせしてしまうこともありました。

インフラ基盤の移行後は、前年同様のイベント時で同じく高アクセスでありながらも、サイト表示が遅延するこ



となく、注文数は前年同月比 2 倍に。結果的に倉庫もフル稼働させることができ、出荷数は前年同月比 5 倍を達成しました。

## 【GMO メイクショップ株式会社について】

GMO メイクショップは、「Commerce for a better future. / 商取引でより良い未来に」をミッションに掲げ、プラットフォーム事業とシステムインテグレーション事業を展開しています。プラットフォーム事業では、EC 構築支援から、EC マーケティング支援、EC 運用受託まで対応し、また、運営資金調達のための補助金・助成金の申請支援や、EC の売上を最短即日入金する『即日売上入金サービス』提供によるキャッシュフロー改善支援など、EC 領域における一気通貫の支援体制を整えております。

中核サービスである EC サイト構築 SaaS「MakeShop byGMO」は、2021 年には年間流通額が 2,749 億円に達し、10 年連続で業界 No.1 を獲得しました。主軸となる『プレミアムプラン』とカスタマイズ対応 EC ソリューション「GMO クラウド EC」の『MakeShop エンタープライズプラン』を合わせた導入店舗数は、2021 年 12 月末時点で 11,000 件以上となっています。

今後も GMO メイクショップは、広範な EC 領域において、店舗様が抱える様々な課題を解決できるよう、サービスの強化を図り、国内の EC 市場の活性化に貢献してまいります。

以上

### 【報道関係お問い合わせ先】

- GMO メイクショップ株式会社  
管理本部 広報担当 戸恒  
TEL : 03-5728-6227 E-mail : [pr@ml.makeshop.jp](mailto:pr@ml.makeshop.jp)
- GMO インターネットグループ株式会社  
グループコミュニケーション部 広報担当 新野  
TEL : 03-5456-2695 E-mail : [pr@gmo.jp](mailto:pr@gmo.jp)

### 【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO メイクショップ株式会社  
「MakeShop byGMO」サポート窓口  
TEL : 03-5728-6224  
E-mail : [help@makeshop.jp](mailto:help@makeshop.jp)

### 【GMO メイクショップ株式会社】 (URL : <https://www.makeshop.co.jp/>)

会 社 名	GMO メイクショップ株式会社
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 CEO 向畑 憲良
事 業 内 容	■プラットフォーム事業 (EC 構築支援・EC マーケティング支援・EC 運用受託) ■システムインテグレーション事業
資 本 金	5,000 万円

### 【GMO インターネットグループ株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (プライム 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2022 GMO MAKESHOP Co. Ltd. All Rights Reserved.

※Amazon Web Services、AWS は、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。